

# 高粱知るぶふれ



知るぶふれは「高粱を知る」と「シルブプレ」(フランス語で「よろしければ」)をかけた言葉です

高粱市総合文化会館で挙行された2017年の成人祝賀式にお邪魔して、人生の重要な階段を上がった皆さんを覗かせてもらいました。

フランス人は18歳で成人になり、新しい義務と権利、そして自由を得ることは確かに感じますが、個人的な誕生日パーティー以上の儀式は行いません。ですので、日本の成人式に多くの同世代の若者が集まるのを見てびっくりしました。

ホールの中で、初々しい背広に身を包んだ男性、立派な和服を着て、早朝の美容院でセットされた髪型の女性たちの姿を見れば、この式典がどれほど重要視されているかがわかります。

会場には、幼なじみとの再会を喜びはしゃ



夢を尋ねると、「親に恩返し」「自立」「世界を巡る仕事を」と三者三様。



この日成人になった皆さんが、将来この高粱で、自分なりのイニシアチブを起こすことを期待しています。



「ここまで育ててくれて感謝しています」としっかり語ることができる良い機会がかもしれません。

いざ、将来を決める時が来たという真剣な表情の人もいたり、興奮と決意、甘えとのんきが混在した、不思議な雰囲気が漂っていました。

彼らは、少々年寄りじみた成人式という伝統を続けているという認識はないものの、やはり真摯な態度をとっているのです。この矛盾は、ある社会グループから他のグループへ(若者から大人へ)の人の移動を整理する「通過儀礼」の本質ではありませんか。(フランス人は儀礼に従わずにマイペースで大人になると言えるかもしれません)

## 協力隊がゆく

17

地域おこし協力隊の金盛です。

私は、高粱市を訪れる人達と地元の人達が気軽に交流できるゲストハウスをつくり、地域活性の促進を目標に活動しています。

高粱市に来る前は、アフリカのジンバブエ共和国で柔道指導をしていました。

それ以前も日本と海外を往來する生活をしており、初めて利用したゲストハウスも海外滞在中の事です。日本を飛び出して、行き当たりばつたりの海外生活でしたが、ゲストハウスに集まってくる人達は、そういう人たちの集まり。不安はなく毎日が夢中になれる時間でした。日常会うことのない人達がゲストハウスに集まり、非日常感を共有する…あなたがその内の1人だったら…、面白そうだと思いますか？

「帰国したら日本でゲストハウスをつくらう」と考えた私は、高

かなもりとむひこ  
金盛友彦 隊員



高粱の自然風景とお城に惹かれて、この場所です。ゲストハウスを皆さんにお披露目できる日を楽しみにしています。

また、高粱柔道スポーツ少年団の稽古に顔を出し、指導の手伝いをさせていただいています。興味がある方は、気軽に見学に来てみてください。最近、吉備国際大学の留学生も参加してくれています。Facebookページ「地域おこし協力隊 岡山県高粱市」もぜひご覧ください。



高粱柔道スポーツ少年団、新年の稽古初め。



地域おこし協力隊の忘年会。ゲストハウスもこんなふうに毎日が楽しい場所になりたい。